

—全商品共通—

# 取扱説明書

—目次—

はじめに	P.1 ~ P.4
車椅子のお手入れ方法	P.5
車椅子の保守・点検	P.5
保管について	P.5
各部名称	P.6
お使いになる前に	P.7
車椅子の広げ方	P.8
車椅子の折りたたみ方	P.9
安全にお使いになるための使用方法	P.10 ~ P.11
各種車椅子の機能について (ハピネス、ハピネスワイド、ハピネスプレミアム、ハピネスライト、 ハピネスコンパクト、コンフォート、ウィッシュ)	P.11 ~ P.15
よくある質問	P.16

ご使用になる前に必ずお読みください。  
読了後は大切に保管してください。

※本説明書は当社全商品共通のものとなっております。

そのため使用されている写真は代表的な物を使用しております。

※製品は改良のため仕様の一部を予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。



**Care-Tec Japan**

# はじめに

この度はお買い求め頂き、誠にありがとうございます。

この取扱説明書では、ご利用者や介助者、他の方への危害・物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

表示と記号の意味をよく理解した上で本文をお読みください。

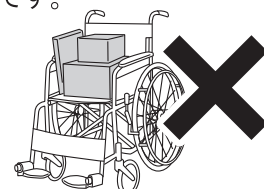
また、ご利用者や介助者が安全に正しくご使用していただくために、必要な注意事項や正しい使い方が説明してあります。ご使用になる前に必ずお読みください。

※裏表紙に保証書が付いておりますので、紛失しないように大切に保管してください

## 警告

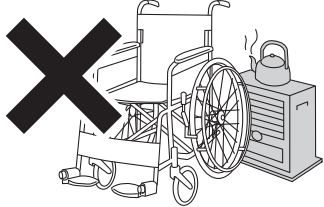

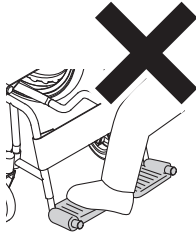

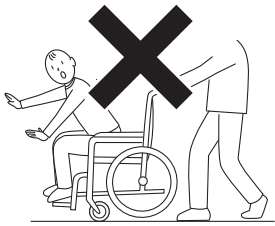
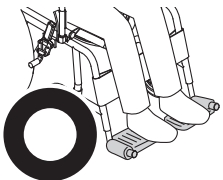
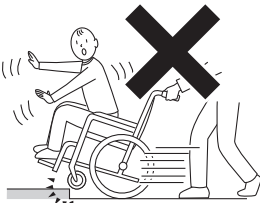
取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。

- ご使用前には必ず各部を点検してください。  
故障・異常のあるときは、直ちにご使用を中止し、修理を行ってください。  
故障箇所・異常箇所を放置したまま使用されますと、転倒・転落事故等の原因となり大変危険です。
- 改造・分解・シートの加工を行わないでください。  
安全性の低下、また強度や耐久性が低下し大変危険です。  
また、事故につながる恐れがありますので絶対に改造・分解しないでください。
- 車椅子に乗り降りの際および停止時には、必ず両輪の駐車ブレーキをかけ車椅子を固定させてください。  
駐車ブレーキがかかっていないと車椅子が動き、衝突やご利用者の転倒事故につながる恐れがあります。
- 駐車ブレーキのレバーは作動方向以外に力を加えないでください。また、必要以上に力を加えないでください。  
作動方向以外に無理に力を加えると、駐車ブレーキが変形・破損する恐れがあります。  
また、足等で操作すると駐車ブレーキが破損する恐れがありますので、必ず手で操作してください。
- 車椅子に乗り降りの際は、決してステップ板（フットサポート）の上に足を乗せないでください。  
ステップ板（フットサポート）の上に足を乗せたまま乗り降りすると、バランスを崩し車椅子ごと転倒する恐れがあり大変危険です。また車椅子が破損する恐れがありますので、必ずステップ板（フットサポート）をあげ地面に足をつけた状態で乗り降りしてください。
- タイヤを持って車椅子を操作しないでください。  
スポークや駐車ブレーキで手や指をはさむ等、大変危険です。
- 車輪が回転しているときは、スポークに手や指を差し込まないでください。  
手や指をはさんで、ケガをする原因となり大変危険です。
- 傘や荷物等を持って、片手で走行しないでください。  
傘をさしながら、また片手に荷物を持ちながらの片手操作ではバランスを崩す原因になります。  
両手で操作し、バランスを保ちながらゆっくりと走行してください。
- 急発進、急停車、急な方向転換をしないでください。  
車椅子は歩行者として取り扱われます。歩行者としての交通ルールを守り、安全に走行しましょう。
- 最大体重を守ってご使用ください。  
使用者最大体重は、積載物も含んだ重さです。
- 背シート（バックサポート）を背折れしたまま使用しないでください。  
後方への転倒、また背折れ金具でケガをする可能性があり大変危険です。
- 複数の人数で乗らないでください。  
この車椅子は一人用です。二人以上で乗ると破損・事故の原因になり大変危険です。
- 車椅子以外の目的に使用しないでください。  
シルバーカーとして使用したり、物品運搬・踏み台等に使用しないでください。  
また絶対に車椅子の上に立ちあがらないでください。



# 警告

取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。

- シートパイプがシートパイプ受けに収まっていることを確認してご使用ください。  
万が一、シートパイプ受けから浮いた状態でご使用されますと、フレームの歪み・故障の原因となり事故につながる恐れがあります。
- ポケットには 1kg 以上の重い物を入れないでください。  
過度の荷物はバランスを崩し危険です。  
また、背折れ部・ブレーキ等の操作レバーに荷物を吊り上げますとバランスを崩し転倒・転落事故等の原因となり大変危険です。
- 車椅子を投げたり落としたり、衝撃を加えないでください。  
フレームの歪み・破損・故障の原因となります。  
安心して長くご使用いただくためにも、丁寧にお取り扱いください。
- 車椅子を火気に近付れたり、高温になる場所に放置しないでください。  
シート部が燃え火災の原因となります。  
またタイヤのパンクや、プラスチック等の変形、熱くなった金属部分でやけどする等の恐れがあります。
- 座シート以外の部分に腰掛けしないでください。また、車椅子のシートの上で立ちあがらないでください。  
転倒・転落事故等の原因となり大変危険です。
- 小さな子供に使用させたり遊ばせたりしないでください。
- 分解・修理・改造は行わないでください。
- 介助ブレーキ、駐車ブレーキの効き具合を必ず確認してください。
- 車椅子に乗り降りするとき、一時停止するときは、
  - ①平らな場所で必ず左右の駐車ブレーキをかけ、車椅子が固定されていることを確認してください。
  - ②必ずステップ板（フットサポート）をあげてから乗り降りしてください。  
ステップ板（フットサポート）の上に立つと、車椅子ごと転倒する恐れがあり大変危険です。
  - ③車椅子が不安定になりやすいので、必ず2名以上の介助者が付いてください。
- 立ち座りは、ゆっくりと行ってください。  
勢いよく立ちあがったり座ったりすると、バランスを崩して転倒する恐れがあります。
- 走行中に身体を乗り出さないでください。また、身体を大きく前傾させないでください。  
バランスを崩して車椅子ごと転倒する恐れがあり、大変危険です。  
段差や凹凸のある路面を走行する際も、身体が前のめりにならないように注意してください。
- 傾斜地・坂道での走行は特にご注意ください。  
傾斜地や坂道では、車椅子が予想外の方向に進む、スピードが出やすい等大変危険です。  
ご利用者が車椅子からずり落ちる、前へ倒れる等、非常に不安定になり危険です。
- 走行中は必ず足をステップ板（フットサポート）の上に乗せ、落ちないようにしてください。  
足を地面につけたりステップ板（フットサポート）からはずすと、ステップ板（フットサポート）と地面の間に足が巻き込まれて、ケガをする恐れがあり危険です。  
ご利用者が靴をはいていない場合は、壁などに当たらないよう十分に注意してください。
- 大きな段差を無理に乗り越えようとししないでください。  
スピードをつけて段差を乗り越えようとすると、ご利用者が車椅子から転落し事故になる恐れがあります。  
また、フレームおよび前輪（キャスト）の損傷を受ける場合があります。  
段差の前では一旦停止して、必ずティッピングレバーを利用して乗り越えてください。
- 介助者は、車椅子の操作方法をよく理解し、取扱いに十分慣れた状態で介助をしてください。

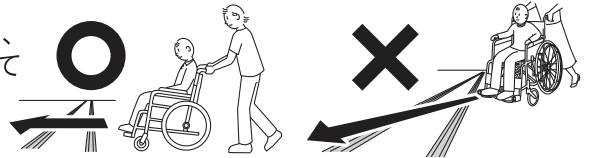
## ▲注意

取扱いを誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。

■肘掛け（アームサポート）・脚部（フットレグサポート）・背シート（バックサポート）を持ち車椅子を持ちあげないでください。肘掛け（アームサポート）や脚部（フットレグサポート）等が車椅子からはずれる恐れがあり、大変危険です。車椅子を持ち上げる場合、駐車ブレーキをかけ固定されているパイプをしっかり支えてください。ご利用者が乗ったまま持ち上げる場合は、安全ベルトをしっかり締め、3人以上でフレーム前下部とティッピングレバーを持ってしっかりと支えてください。また、ご利用者の身体の一部を持たないでください。

■道路通行の際は、必ず右側を通行してください。また、歩道を通行してください。段差や凸凹のある路面等を走行するときは、特にご注意ください。

■側溝の格子蓋や踏み切りの横断・エレベーターの乗り降りの際は、車輪を溝・レールに対して直角にして必ず介助者と一緒に渡ってください。斜めの角度で進入すると溝・レールにはまって危険です。必ず介助者の方に援助をお願いしてください。

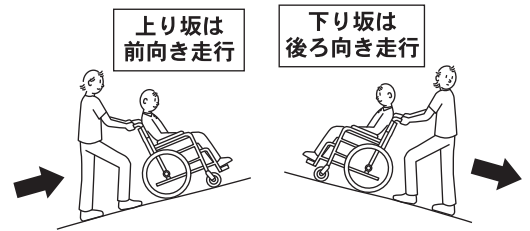


■坂道の上下りや段差のある場所では、必ず介助者に支えてもらい走行してください。

坂道や段差を上る時は前向きに、下る時は後方に注意しながら後ろ向きにゆっくり走行してください。

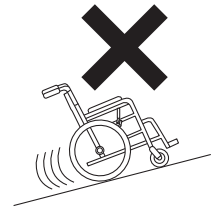
坂道や段差を前向きで下ると、ご利用者が前へずり落ちる、前のめりとなり転倒・転落事故等の原因となる、スピードが出やすい等、非常に不安定になり危険です。

また、介助者がバランスを失ったときも危険です。



■転倒防止バーはあくまでも後方への転倒を防ぐものなので、常時接地させたり過度な負荷はかけないでください。破損する恐れがあります。また、バランスを崩し転倒につながる恐れがあります。

■傾斜地・坂道で車椅子を駐車しないでください。駐車ブレーキを使用しても車椅子が動く場合があり、転倒等の事故につながる恐れがあります。車椅子の駐車は水平で平坦な場所で行ってください。



■車椅子の機能と操作をよく理解し、慣れた状態で介助を行ってください。またご利用者の心身の状況、症状を充分考慮し、適切な介助を行ってください。

■次のような場所では走行を避けてください。

- ・交通量の多い道路・砂利道・凹凸のある道
- ・ぬかるみ・雪道・凍結路・防止柵のない側溝や路肩付近等
- ・崖・川土手・海岸防波堤上・その他危険な場所
- ・夜間・雨天・濃霧・強風・その他危険が予想される場合

夜間は側溝や障害物等が発見しにくくなり危険です。雨天は路面が滑りやすくなり危険です。

■次のような場所では厳重な注意が必要です。

介助者が付き添い、ご利用者の身体を支える等注意しながらご使用ください。

- ・狭い道・踏み切り・横断歩道・駅のホーム・エレベータ
- ・車椅子対応の動く歩道・車椅子対応の福祉車両
- ・その他危険が予想される場所

■身体が安定しない方は、安全ベルトの着用をおすすめします。

段差等で不意に衝撃を受けると身体が投げ出されることがあり危険です。

また、安全ベルトをはずしたまま移動すると安全ベルトが車輪にからまる等危険ですのでおやめください。

また安全ベルト装着機種は、必ず安全ベルトを締めてください。

■車椅子にバリ等がないか確認してください。


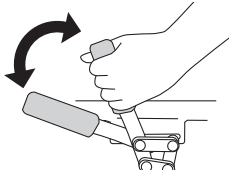
衝突等により金属・樹脂部にバリ等が発生することがあります。ケガの原因となりますので、充分ご注意ください。

■認知症の方がご使用される場合は、必ず介助者が付き添ってください。

車椅子のシート、部品等を飲み込むことや一度かけた駐車ブレーキを不意に解除されることがありますので、充分ご注意ください。

## ▲注意

取扱いを誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。

- 介助者は、ご利用者が車椅子に安定した姿勢で安全に座れていることを確認してから操作してください。  
座面深く・また左右にかたよらずに座ってください。  
ご利用者の身体の一部または衣服が、タイヤ・スポーク・前輪（キャスト）および地面・建物・通行者に触れたりはさまったりしないようご注意ください。
- 靴をはかずに足をステップ板（フットサポート）に乗せてご使用いただく場合は充分ご注意ください。  
壁や柱で足をケガする、足がステップ板（フットサポート）から落ちて骨折する等、大変危険です。
- 車椅子の乗り降りや移乗等車椅子が不安定になりやすいときには、必ず2名以上の介助者が付き添ってください。
- 飛行機にご搭乗される場合のご注意  
車椅子をご旅行先へ持って行かれる場合は、事前に利用予定航空会社又は旅行代理店にご相談ください。  
事前確認なしに空港へ行きますと、航空会社の確認業務に時間がかかる場合がございます。  
お早目の手続きでスムーズなご旅行をお楽しみください。
- 必ず道路交通法規を守ってください。  
道路交通法規を守らず使用すると、交通事故の原因となったり、本製品の保証範囲外となる場合があります。
- 発進するときや、段差を乗り越えるときには、前輪（キャスト）のタイヤがまっすぐになっていることを確認してから走行してください。  
前輪（キャスト）が斜めになった状態で発進したり、  
段差に斜めに進入すると、段差を乗り越えられなかったり、  
前輪（キャスト）が破損して事故の原因となることがあります。  

- 押手（手押しハンドルグリップ）や、背シート（バックサポート）、背折れ金具、駐車ブレーキなどの操作レバーに重い荷物を吊りさげないでください。  
転倒したり、部品が変形・破損することがあります。  

- 駐車ブレーキは必ず手で操作してください。  
また、作動方向以外に力を加えないでください。部品が変形したり破損することがあります。
- 車椅子を使用中は、安定した姿勢を保ってください。座シートの中央に深く腰かけてください。
- ご使用前には、毎回必ず各部を点検してください。  
→「お使いになる前に」（P7）参照。異常が見つかった場合は、すぐに使用を中止し、販売店へご連絡ください。
- 片手のみで操作しないでください。バランスを崩すことがあり危険です。
- 以下のような場所には放置しないでください。
  - ・ 坂道、車道に近い所、人通りのある所
  - ・ 段差や凹凸のある路面
  - ・ 非常口、消火器、消火栓のそば
  - ・ 直射日光のあたる所、火気などで高温になる所、湿気の多い所
  - ・ ほこりの多い所
  - ・ 風雨のあたる所、潮風のあたる所、暑い日や寒い日の屋外
  - ・ 子供がいたずらをする恐れのある所
- 車椅子に乗って介助しないでください。
- 使用中は常に、ご利用者の姿勢や状態に注意を払ってください。
  - ・ 身体の一部や衣類が、タイヤ・スポーク・前輪（キャスト）などにはさまらないように、また地面・建物・通行者などに触れないように注意してください。
  - ・ ご利用者が安定した姿勢を保っていることを確認してください。

## 車椅子のお手入れ方法

### <金属部分（フレーム、車輪等）>

- ・フレーム等の金属部は、乾いた布もしくは強くしぼった濡れタオルでよく汚れを落として、乾いた布で拭き取ってください。
- ・スポークの通常のお手入れは、水を用いずに汚れを落とす程度で充分です。
- ・凹凸のある部分の汚れ、頑固にこびりついた汚れは、市販の中性洗剤をご使用ください。

### <樹脂（プラスチック）部>

- ・水拭きのあと、乾拭きしてください。
- ・ひどい汚れは、薄めた中性洗剤を使用して拭き取り、その後水拭きで洗剤を落としてから乾拭きしてください。

### <シート類>

- ・シート部分をぬるま湯で拭き、きれいな水で仕上げ拭きを行い、乾かしてください。

### <汚れがひどい時>

- ・汚れが取れにくい場合は、中性洗剤を染み込ませた布で汚れを拭き取り、その後、水で濡らした布で洗剤を拭き取ってください。
- ・しみは、スポンジまたは柔らかいブラシを用いて取り除いてください。
- ・洗う場合は、ぬるま湯で手洗いしてください。洗濯機、乾燥機の使用はお避けください。

### <注意事項>

- ・熱湯やオゾンで洗浄しないでください…故障・変質・変色の原因となります。
- ・中性洗剤以外を使用しないでください…中性洗剤以外を使用した場合、変質・変色・傷みの原因となります。
- ・揮発性剤（シンナー・ベンジン・アルコール類）は使用しないでください…変質・変色・劣化・傷みの原因となります。
- ・たわし、みがき粉および硬いブラシは使用しないでください…傷みの原因となります。
- ・ホース等で直接水をかけないでください…車輪およびフレーム内部・ブレーキ部に水滴が残り、錆の原因となります。

## 車椅子の保守・点検

1ヶ月に1度は安全点検を行ってください。

### <タイヤ>

- ・タイヤの溝は充分認識できるか、変形やひび割れがないか

### <各種ブレーキ>

- ・正しく停止するかどうか、調整は適切かどうか

### <車椅子本体>

- ・異音が発生しないか、まっすぐ進むか、四点接地しているか、きちんと折りたためるか

### <シート>

- ・著しい破損やたるみ、傷みがないか

### <ネジ>

- ・緩みはないか

### <ブレーキワイヤー>

- ・錆、ほつれ、ゆるみ、切れていないか（介助ブレーキのないものは除く）

### <ハンドリム、車輪、前輪（キャスト）>

- ・しっかり固定されているか

異常がございましたら、直ちにご使用をお止め頂き、お買い上げの販売店までご連絡ください。

## 保管について

屋内で保管してください。また、長時間使用しないときは、汚れを落としてから保管してください。雨ざらしになる場所、また高温多湿な場所では保管しないでください。故障や錆・変形の原因となります。

下記のようなところに車椅子や部品を放置しないでください。事故や錆・破損の原因になります。

- ・車道に近いところ・人通りのあるところ
- ・路面に段差や凸凹のあるところ・湿気の多いところ
- ・海沿いの屋外（潮風の当たるところ）・雨、風のあたる場所
- ・ほこりの多い場所・傾斜地・坂道
- ・非常口、消火器、消火栓の前・暑い日や寒い日の戸外
- ・直射日光の当たる場所（車内も含む）
- ・ストーブ等火気を使用し高温になる場所
- ・子供がいたずらをする恐れのある場所

## 各部名称



- ① 背シート（バックサポート）…背部が寄りかかる場所です。
- ② 肘掛け（アームサポート）…ご利用者が肘を乗せる場所です。
- ③ 側板（サイドボード）…衣類等が車輪に巻き込まれるのを防ぎます。
- ④ 座シート…座る場所です。
- ⑤ 脚部（フットレッグサポート）…脚を支持する装置です。
- ⑥ 脚ベルト（レッグサポート）…脚が後ろに落ちないように支えます。
- ⑦ 駐車ブレーキ…車椅子を駐車するときに使用します
- ⑧ 前輪（キャスタ）…自在に方向転換できる小車輪です。
- ⑨ ステップ板（フットサポート）…足を乗せる板です。
- ⑩ 背折れ金具…車椅子を折りたたむ際に使用します。
- ⑪ ハンドリム…自走するときに使います。（自走用のみ）
- ⑫ 背ポケット…手荷物の収納等に使用します。付属の六角レンチ等の工具が入っています。
- ⑬ 押手（手押しハンドルグリップ）…介助者が車椅子を移動させる際に握る部分です。
- ⑭ 介助ブレーキレバー…介助者がブレーキを制動するときに握る部分です。（介助用・自走介助兼用のみ）
- ⑮ 後輪…駆動輪です。（介助用の場合は主輪です。）
- ⑯ ティッピングレバー…段差を乗り越える際は、この部分を踏んで前輪を浮かせてください。

# お使いになる前に

全ての車椅子は工場出荷時に点検・調整済みですが、運送時の振動等により調整に狂いが生じる場合があります。安全のため、車椅子を使用する前に各部の点検・簡易動作チェックを必ず行ってください。点検・調整が不十分なまま走行すると、車体の破損・事故につながる恐れがあります。異常が見つかった場合は、すぐに使用を中止し、販売店へご連絡ください。

## <装着品の確認>

- ・背シート（バックサポート）、座シートは、しっかりと固定されていますか？
- ・背折れ金具は、しっかりと固定されていますか？
- ・肘掛けは、しっかりと固定されていますか？
- ・シートパイプが、シートパイプ受けに確実に入っていますか？
- ・脚ベルト（レッグサポート）は、しっかりと取付けられていますか？

## <後輪の確認>

- ・タイヤにキズがありませんか？異物が刺さっていませんか？
- ・タイヤの溝が充分残っていますか？変形していませんか？
- ・ガタつきはありませんか？
- ・リムに振れ・変形がなく、スポークに曲がりや折れはありませんか？

## <ブレーキの確認>

- ・駐車ブレーキおよび介助ブレーキが正しく作動しますか？
- ・ブレーキをかけた状態で後輪が回転しませんか？
- ・駐車ブレーキおよび介助ブレーキをかけたときには、後輪の回転がしっかり止まりますか？
- ・解除の際は後輪がスムーズに回転しますか？

## <座シートの確認>

- ・座シートにキズやたるみはありませんか？
- ・シートパイプは、シートパイプ受けに確実に入っていますか？

## <背シート（バックサポート）の確認>

- ・背シート（バックサポート）にキズやたるみはありませんか？
- ・左右のロックピンが確実に穴の中に入っていて、背折れ部分がしっかりと固定されていますか？

## <介助者へ>

- ・長期間の使用や使用頻度によっては、前輪（キャスト）車輪、脚部、肘掛け（アームサポート）等の劣化がすすむことがあります。使用前点検を必ず行ってください。
- ・異常がある場合は、使用を中止してください。
- ・急な坂道・凹凸や段差のある場所・踏み切りの横断・エレベータの乗り降り等の溝のある場所・その他危険が考えられる場所では、必ず介助者が付き添い、ご利用者の身体を支える等転倒防止に努めてください。
- ・車椅子に乗って介助しないでください。
- ・ご利用者の身体の一部および衣服が、タイヤに触れたりはさまったりしないよう注意してください。
- ・ご利用者の身体の一部および衣服が、建物、通行者および地面に触れたりはさまったりしないように注意してください。
- ・重い荷物を車椅子に載せたり、押手に提げたりしないでください。
- ・段差を乗り越えるとき等、前輪（キャスト）を持ち上げる際は必ずティップングレバーを踏んで両手と足で車椅子を持ち上げるように操作をしてください。

## <全体的に>

- ・全体にガタつきはありませんか？きちんと折りたためますか？
- ・平らな場所で、左右均等な力で前へ押したあと、まっすぐに進みますか？
- ・各部ボルトやナットが緩んでいませんか？
- ・ワイヤーが部品等に引っかかかっていませんか？また、切れていませんか？
- ・車輪は4つとも接地していますか？
- ・異音はしませんか？

## <タイヤの確認>

- ・亀裂や穴・キズはありませんか？また表面の溝は十分残っていますか？
- ・タイヤは、表面の溝が無くなる前に交換してください。

## <脚部の確認>

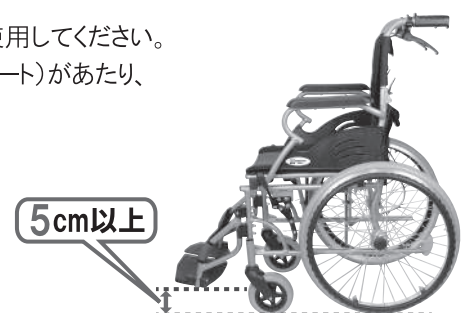
- ・ステップ板（フットサポート）がパタパタしていませんか？
- ・キズや亀裂等はありませんか？
- ・脚ベルト（レッグサポート）は、しっかりと取り付けられていますか？
- ・ステップ板（フットサポート）の向き、高さは適正ですか？
- ・ガタつきがなく、車体にしっかりと固定されていますか？

## <肘掛け（アームサポート）の確認>

- ・キズや亀裂等はありませんか？
- ・ガタつきがなく、車体にしっかりと固定されていますか？

## ⊘ 警告

- ステップ板（フットサポート）の高さは地面より5cm以上で使用してください。低すぎると路面の凹凸や障害物にステップ板（フットサポート）があたり、転倒事故の原因になります。
- ブレーキワイヤーは、1年に1度交換してください。



## ⚠ 注意

- 各部の組み立ては、平たんな場所で駐車ブレーキをかけ、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。



# 車椅子の広げ方

車椅子の広げ方・乗り方(背固定式の機種は手順③を除きます)



①平坦な場所で駐車ブレーキをかけ、車椅子の前方または後方に立ち、左右の肘掛け(アームサポート)を持って両側に広げます。



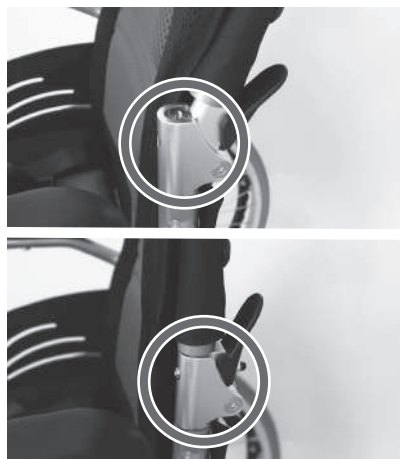
②座シートを手で上から下に押し下げます。



※横を持ち押し広げないでください。



③押手部分を持ち、上方へ持ちあげます。



※背折れ金具が完全にロックされていることを確認してください。



④ご利用者が車椅子に乗車後、ステップ板(フットサポート)を下ろしてください。

## 警告

- シートパイプの横や下に手や指を入れないでください。パイプに手や指をはさんでケガをする恐れがあります。
- 車椅子を広げた際、シートパイプがシートパイプ受けに収まっているか確認して座ってください。パイプが曲がり、転倒・転落事故の原因となります。
- 背シートをあげる際、背折れ金具が完全に固定されていることを確認してください。ロックされていないと急に背シート(バックサポート)が倒れ転倒・転落事故の原因となります。
- 車椅子に乗り降りの際、絶対にステップ板(フットサポート)の上に乗らないでください。車椅子がバランスを崩し、転落事故の原因となります。
- 押手(手押しハンドルグリップ)に重いものを掛けしないでください。車椅子が不安定になり、転落事故の原因となります。

## 注意

- 周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- 指等をはさまないように注意してください。
- シートパイプが、シートパイプ受けに確実に入っていることを確認してください。
- 左右の手押しハンドルのロックピンが確実に穴の中に入っていて、ハンドルがしっかりと固定されていることを確認してください。

# 車椅子の折りたたみ方

車椅子の折りたたみ方・降り方（背固定式の機種は手順②を除きます）



①平坦な場所で駐車ブレーキをかけ、ステップ板（フットサポート）を上方へ跳ねあげ、ご利用者は肘掛け（アームサポート）を持ちゆっくりと立ちあがります。

②背折れ金具のレバーを後方へ引き、押手部分を手前に引き背シートを倒します。



③座シートの前方と後方の中央部を同時に持ちあげます。

※車椅子に乗り降りの際は決してステップ板（フットサポート）の上に足を乗せないでください。

<p><b>⊘ 警告</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■シートパイプの横や下に手や指を入れしないでください。 パイプに手や指をはさんでケガをする恐れがあります。</li> <li>■車椅子に乗り降りの際、絶対にステップ板（フットサポート）の上に乗らないでください。 車椅子がバランスを崩し、転落事故の原因となります。</li> <li>■押手（手押しハンドルグリップ）に重いものを掛けないでください。 車椅子が不安定になり、転落事故の原因となります。</li> <li>■折りたたむ際に、押手（手押しハンドルグリップ）を持って左右から押し縮めないでください。</li> <li>■車椅子を折りたたむ際には、ポケットの中に物が入っていないことを確認してください。 ポケットの中の物を破損したり、車椅子の故障の原因となります。</li> </ul>
<p><b>⚠ 注意</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■周囲に人がいないことを確認してから行ってください。</li> <li>■指等をはさまないように注意してください。</li> </ul>

# 安全にお使いになるための使用方法

## 自走用車椅子の動かし方



① 駐車ブレーキのロックを解除します。



② ハンドリムを握り車輪を回転させ移動します。



※タイヤを持って車椅子を操作しないでください。

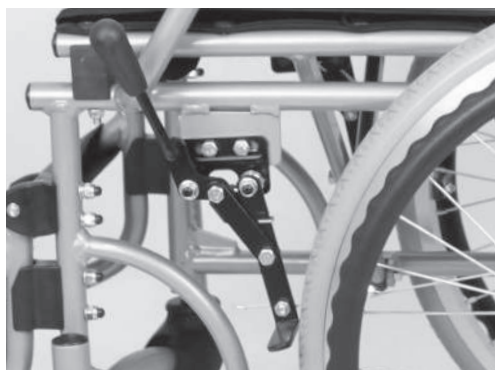
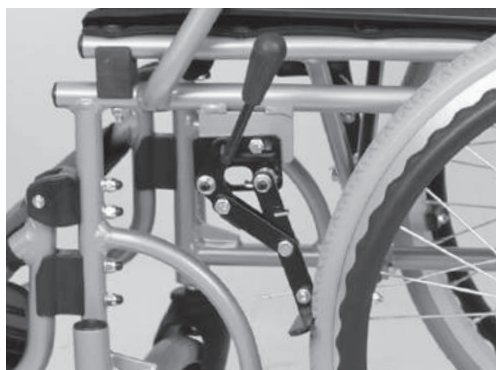


※車輪が回転しているときは、スポークに手や指を差し込まないでください。

### ⊘ 警告

- スピードが出ている状態で、素手でハンドリムを持って減速しないでください。摩擦で手にケガをする恐れがあります。
- 走行中、体を乗り出さないでください。バランスが不安定になり、転倒・転落事故の原因となります。

## 駐車ブレーキの使用方法



① 駐車ブレーキを操作しロックをかけます。

② ロックした方向と反対に操作すると解除します。

<p><b>警告</b></p>	<p>■ 車椅子の乗り降りやベッドへの移乗時には、必ずブレーキをかけてください。 駐車ブレーキをかけないと車椅子が動き、転倒事故の原因となります。</p>
<p><b>注意</b></p>	<p>■ 車椅子に乗り降りするとき、一時停止するときは、必ず左右の駐車ブレーキをかけ、車椅子が固定されていることを確認してください。 ■ 駐車ブレーキは、車椅子の停車時に車輪を固定するためのものです。走行中には使用しないでください。</p>

## 介助ブレーキの使用方法(介助用・自走介助兼用のみ)



① 介助ブレーキレバーを握るとブレーキがかかります。



② 介助ブレーキレバーを放すと解除します。

<p><b>警告</b></p>	<p>■ 急ブレーキをかけないでください。車椅子に乗っている方が前方へ転倒する恐れがあります。 ■ ブレーキは両側同時にかけてください。バランスを崩し転倒事故の原因となります。</p>
------------------	--

## 各種車椅子の機能について

### パーキングブレーキ機能について ハピネスプレミアム・コンフォート



介助ブレーキレバーを強く握り込むことによりロックがかかります。



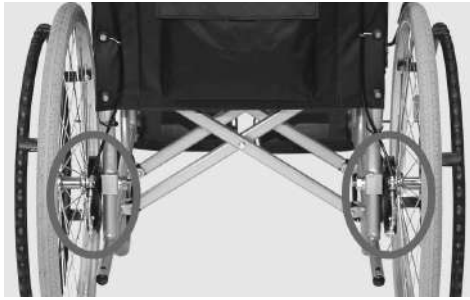
ロックがかかった状態です。



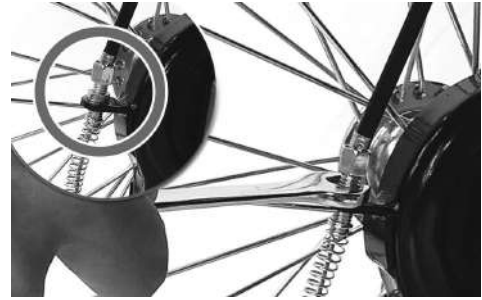
丸部のパーツをハンドルと一緒に握り込むことにより、ブレーキが解除されます。

## ドラム式ブレーキ (介助ブレーキ) の調整について

該当機種:ハピネス(ワイド・プレミアム・ライト・コンパクト)シリーズ、コンフォートシリーズ



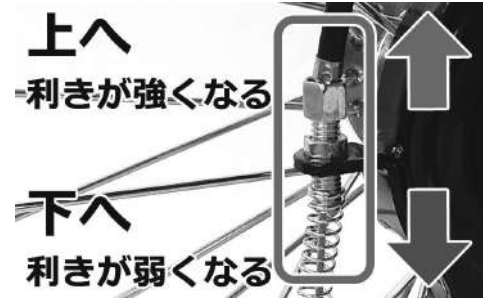
- ① ドラム式ブレーキの調整はこちらの所で調整します。



- ② 調整用部品がありますので、まず下のナットをスパナでゆるめます。



- ③ 上のボルトをスパナで回して適切な位置に調整し、位置が決まったら下のナットをプレートの位置で締めて固定してください。



ボルトが上へいくほど、ブレーキの利きが強くなります。  
ボルトが下へいくほど、ブレーキの利きが弱くなります。

## 駐車ブレーキの調整について



- ① ボルトでニヶ所固定している部分があります。内側にあるナットをスパナでゆるめると調整できるようになります。



- ② 左右に動かし調整します。タイヤに駐車ブレーキのタイヤ押さえが当たり、タイヤがしっかり止まる位置に調整します。(隙間の目安は10~17mm程度)



- ③ 位置が決まったら、しっかりナットを締め直して固定し、完了です。ブレーキが正常に作動するか確認してください。

### 警告

- ご利用者を乗せたまま調整を行なうことは、絶対にしないでください。
- 調整には適切な工具をご使用ください。
- 調整を行なった際は、ブレーキが正常に作動するかしっかり確認して、ご使用ください。不適切な調整の場合、ブレーキが作動せず転倒などの事故につながる恐れがあります。
- 改善等みられない場合には使用を中止し、販売店までご連絡ください。

### 注意

- 調整を行う際は、タイヤやブレーキ等に指等をはさんでケガをしたりしないよう十分注意してください。
- 調整・メンテナンス等に不安がある場合や、ご自身で行くと危険がともなう場合などは専門家へ依頼するか販売店までお問合せください。

## W(ウォッシュャブル)シート機能について

該当機種:ハピネス(ワイド・プレミアム・ライト・コンパクト)シリーズ、コンフォートシリーズ

背もたれ用シート・座面用シートの取り外しができ、交換が可能です。  
手洗いして清潔に使うことができます。  
面ファスナー式なので着脱も簡単です。



背シート用

座シート用

脚ベルト

※こちらはハピネス用シートです。機種により形状が異なりますのでそれぞれのシートの上下などご確認の上、装着してください。



背もたれ用シート

- ◇上部に折り返し部分がある。
- ◇背折れ部に合わせたくびれがある。
- ◇反射テープの付いた機種は反射テープがある。

<装着方法>

背シートにはりつけ、上部の折り返し部分を後ろへ折り込み、装着します。



座面用シート

- ◇下部に折り返し部分がある。
- ◇上下に折り返し部分がある機種はそれぞれ座面下へ折り込んで下さい。

<装着方法>

座シートにはりつけ、折り返し部分を座面下へ折り込み、装着します。



脚ベルト

脚部に巻きつけて装着します。  
取り付けることにより、足が後ろに落ちないように支えます。

<p><b>⊘ 警告</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■シートの加工や改造を行なわないでください。 安全性の低下、または強度や耐久性が低下し危険です。</li> <li>■シート部分を火気に近づけないでください。火災の原因となります。</li> </ul>
<p><b>⚠ 注意</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■機種専用のシートをお使いください。他機種には取り付けられません。</li> <li>■洗う場合は、ぬるま湯で手洗いしてください。洗濯機、乾燥機の使用はお避けください。</li> <li>■熱湯やオゾンで洗淨しないでください。変質・変色の原因となります。</li> <li>■中性洗剤以外を使用しないでください。変質・変色・傷みの原因となります。</li> <li>■揮発洗剤(シンナー・クレゾール・ベンジン・アルコール類)は使用しないでください。変質・変色・劣化・傷みの原因となります。</li> </ul>

## 肘掛け跳ねあげ機能について コンフォート

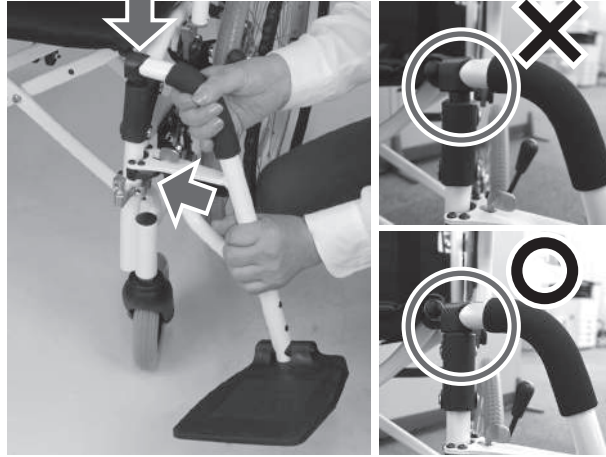


①肘掛け（アームサポート）部  
端にあるレバーを握ること  
によりロックが解除されます。

②肘掛け（アームサポート）部  
を上部に跳ねあげることが  
できます。はめ込む際はしっか  
りとロックしてください。

③跳ねあげる事により、ベッド  
等への移乗がスムーズに行え  
ます。

## 脚部スイングアウト機能について コンフォート



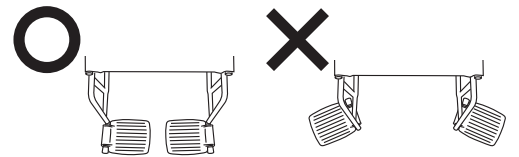
①車椅子と同梱の脚部  
（フットレッグサポ  
ート）を用意します。

②脚部（フットレッグサポ  
ート）を本体  
に差し込んだ後、すき間がなくなるま  
で上から押し込んでください。

③ゆっくりとスライドし、  
正面に合わせ、ロックし  
ます。

### 警告

■ステップ板（フットサポート）は正しい位置で使用してください。外側へ向けるなど間違った位置で使用すると、走行中に前輪（キャスト）や周囲の物に干渉し、転倒などの思わぬ事故につながる可能性があります。

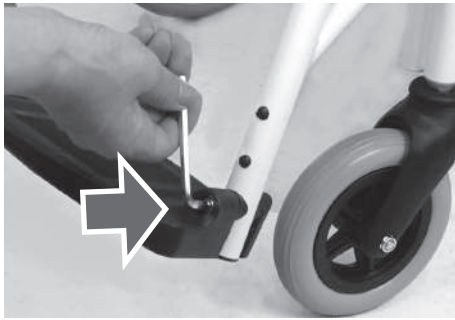


■脚部（フットレッグサポート）を正面に合わせロックした後、確実に固定されていることを確認してください。脚部（フットレッグサポート）が回転し、転倒等思わぬ事故につながる可能性があります。

### 注意

■指等をはさまないように注意してください。

## ステップ板の高さ調整について ハピネスプレミアム・コンフォート・ウィッシュ



①矢印の穴に六角レンチを差し込み、ネジをはずします。ネジが長いので多少時間がかかります。



②車種によって付属する六角レンチです。背ポケットの中に同梱されています。



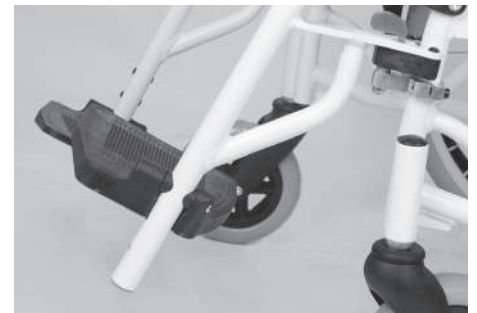
③ステップ板（フットサポート）をはずした状態です。車種によっては写真上部の箇所に黒いキャップがついています。



④③のキャップは引っぱると簡単に取ることができます。



⑤キャップをはずした状態です。

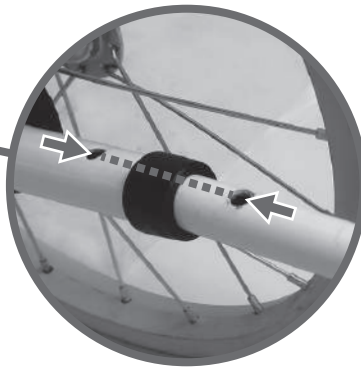


⑥①ではずしたネジ等を上の穴に取り付けて完了です。お好みの高さに合わせてお使いください。

## 転倒防止バーについて ハピネスプレミアム・コンフォート



転倒防止バーを矢印の穴の位置を揃え差し込みます。



ストッパーを差し込みます。



取り付けることにより後方への転倒のリスクを軽減できます。



## よくある質問

### ●領収書・納品書は発行してもらえますか？

各お支払い機関へのご利用明細書、お振込控え、代引金領収証、払込票兼受領証が正規の領収書となります。ご希望のお客様に領収書・納品書を発行しております。商品発送後、メールにてPDF形式で送信致します。またお電話にてご注文頂きましたお客様につきましては、郵送にて領収書を送付致します。販売店発行領収書につきましては二重発行防止の為、決済方法を明記致しております。通常、領収書・納品書はご購入のお客様のお名前で発行いたしておりますが、お宛名にご指定がある場合は、ご要望欄または、メール、お電話にてご連絡くださいませ。

### ●NP後払い(コンビニ後払い) 請求書が商品の中に入れていません。

請求書は商品と別送になるため、商品の中に同梱されておりません。商品到着後おおよそ1週間程お時間を頂きました後、郵送にてご手配となります。請求書が到着次第、「コンビニ」「郵便局」「銀行」にてお支払い下さいませ。

### ●保証書に販売店の捺印がないが保証書としてつかえますか？

ご使用いただけます。保証書への捺印は行っておりませんが、お客様のご注文情報や出荷日は販売店にて確認することができますので、故障や不具合等が起こった場合、お買い上げ頂きました販売店までご連絡ください。

### ●購入した商品が必要なくなった。返品・交換はできますか？

サイズ違い、イメージ違いなどの良品にも関わらずお客様のご都合での返品・交換、また弊社で良品の範疇である商品の返品に関してはお断りさせて頂いております。詳細につきましてはお買い上げ販売店のホームページをご確認頂き、販売店までお問い合わせ下さいませ。

### ●部品は取扱がありますか？

販売店にて承っております。一部、販売できない部品もございますので予めご了承ください。ご購入された際の注文番号・お名前・お電話番号をご明記頂き、お求めの部品を出来るだけ詳しく販売店部品注文ページよりお問い合わせ下さいませ。

### ●お届けした商品に不備や破損があった場合は？

お届けした商品に万一、破損・汚損などの初期不良がございましたら大変お手数をお掛け致しますが、商品到着後7日以内に下記販売店までご連絡下さいませ。すぐにご対応させて頂きます。交換商品が欠品の場合は返金対応等とさせて頂きます。※破損・汚損などの不良箇所をお客様自身で修理等された場合、交換不可となる場合がございます。不良箇所を発見次第、ご自身で修理はせずに至急販売店までご連絡下さいませ。また、修理費用等のご返金は致しかねますので、予めご了承くださいませ。

商品到着後7日を過ぎ不良が発生した場合は、お手数ですが具体的な不良内容、不良が出た際の使用状況、不良が出た箇所の写真を撮影のうえ、ご購入された際の注文番号・お名前・お電話番号をご明記頂き下記販売店までお問い合わせ下さいませ。

その他のお問い合わせ、アフターサービス等のご連絡はコチラまでお願いいたします

介護用品卸センター

**介護用品卸センター**  
介護用品専門の卸価格販売

✉ 【本店】 info@hukusi-orosi.jp  
✉ 【楽天】 rakuten@hukusi-orosi.jp

車椅子とシルバーカーのお店YUA



✉ info@yua-shop.jp

ジャパンネットモール

**JAPAN NET MALL**

✉ jpntml@kca.biglobe.ne.jp

# 保証基準

## 保証期間

ご購入日より1年間です（本体・付属品共）※消耗部品は含みません

※消耗部品・・・前輪・後輪・各部ベアリング・シート類・ハンドブレーキカバー・板ばね・ワイヤー

## 保証期間後

保証期間後はお買上げの販売店にご相談ください。

## 保証の適用除外となる場合

- (1) ご使用による消耗および取扱不注意による破損  
例) タイヤの摩耗、各部ベアリング、ワイヤー、シート、ステップ板の破損等
- (2) 地震、台風、水害等の天災および事故、火災による焼失・破損
- (3) お取扱の不注意、操作未熟ならびに故意または過失等誤って使用された事による破損
- (4) 保全上の不備、また弊社および販売店以外で行った修理や改造等による破損
- (5) 弊社および販売店が指定する純正部品以外のパーツ等の使用により発生した破損
- (6) 一般に車椅子が走行しない場所、または特殊な状態での使用による破損
- (7) 製品本来の使用目的にそぐわない使用による故障および破損
- (8) 取扱説明書に従わずに使用して生じた故障および破損
- (9) 取扱説明書に禁じられている使用方法によって生じた故障
- (10) 日本国外でご使用の場合

## ご注意

- (1) 保証書の再発行は致しませんので大切に保管してください
- (2) 一度でも使用した商品は原則としてお取り替えはできません。

修理・お手入れ・お取扱い等のご相談は、  
まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

## 製品保証書

品名	車椅子
品番	
保証期間	ご購入日より1年間
お買上げの日	年 月 日
ご住所	
お名前	



**Care-Tec  
Japan**

<販売元>

株式会社 ネクストケア・イノベーション  
〒806-0041  
福岡県北九州市八幡西区皇后崎町10番3号  
mail:info@nextcare.jp